令和6年(2024年)度年間授業計画表					
学年	3年	学科	生物生産科	必選	
教科	農業	科目	果樹	単位	2単位
使用教材	教科書: 果樹(実教出版株式会社)				
学習目標	① 果樹の生産と経営について体系的・系統的に理解し、現場で活用できる技術を身に付ける。 ② 果樹の特性や栽培に適した環境を理解させ、本県における果実の生産と経営に関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③ 果実の品質と生産性向上を図る能力と態度を育成し、主体的に経営に向かう姿勢と他者と協働して研究に取り組む態度を養う。				
単元と内容					
1学期	○リンゴ、オウトウ、ブドウ、ナシ、カキの生育と栽培管理 (春～夏の栽培管理) ・高品質果樹の生産方法 ・具体的栽培管理と技術 ・施設の利用のあり方	置賜地域の中心品目であるリンゴ、ナシ、オウトウ、ブドウ、カキの生育及び栽培管理について理解する。 春から夏にかけての栽培管理と技術の定着を図る。			
2学期	○リンゴ、オウトウ、ブドウ、ナシ、カキの生育と栽培管理 (夏～冬の栽培管理) ・高品質果樹の生産方法 ・具体的栽培管理と技術 ・品種の選定と開園方法	気温・日照・降水量・風・土壌・水分・栄養等の環境条件が、果樹の生育にどのように影響するのかを調査し、本地域における栽培管理を理解する。 夏から冬にかけての栽培管理と技術の定着を図る。			
3学期	○リンゴ、オウトウ、ブドウ、ナシ、カキの生育と栽培管理 (冬期間の栽培管理) ・高品質果樹の生産方法 ・具体的栽培管理と技術 ○1年間のまとめ	果実の生産性と着果習性について理解する。 整枝・剪定技術を習得する。			
評 価					
評価の観点		評価の趣旨			
I	知識・技能	果樹の生理・生態的な特性や生産及び生育環境を理解し、知識と技術を習得している。			
II	思考・判断・表現	果樹での学習成果を、主体的に分析、考察、評価してまとめることができている。			
III	主体的に学習に取り組む態度	果実の生産と経営に関する課題を発見し、日頃の学習と関連付けながら主体的に学ぶことができている。			
評価方法	観点 I		観点 II		年間時数
	定期テスト 実習記録シート 観察(授業態度・服装)		定期テスト 実習記録シート プロジェクト活動の発表と報告書 観察(授業態度・服装)		予定
					51時間
					実施
置賜農業育てる能力		①健康 ②自己肯定感 ③忍耐力 ④主体性 ⑤生命 ⑥他者理解 ⑦協調性 ⑧誠実 ⑨生きる力 ⑩知識技能 ⑪地域づくり ⑫実践奉仕 ⑬社会貢献			